

「自治会避難所運営ゲーム（HUG）」

および外宮周辺観光客避難誘導訓練」実施報告

いつ起きてもおかしくない南海トラフ巨大地震などの災害に備え、明倫地区の子ども達や住民の命を守るため、平成30年6月23日（土）明倫小学校において、自治会を対象にした「避難所運営ゲーム（HUG）」および「外宮周辺観光客避難誘導訓練」を実施しました。

明倫地区の自治会・町会・自主防災隊をはじめ、明倫小学校および明倫幼稚園教職員・修道まちづくり会様・近畿日本鉄道 宇治山田駅職員様・市役所職員様など84名（指導員9名含む）の方々にご参加いただき、訓練終了時刻ぎりぎりまで意見を出し合う姿がみられました。

また、「外宮周辺観光客避難誘導訓練」では、観光客の一部を避難所（明倫小学校）まで誘導する際、外宮前広場から避難所までの経路に潜む危険箇所などを確認しました。

訓練終了後、「リーダーが必要」「弱者やペットの対応」「夜間停電になった際は灯りが必要」など数々の課題や感想を発表していただきました。

三重県防災対策部指導員からは「予知できない地震が起きた際は、行政職員が避難所へ駆けつけることが難しいため、日頃から地域の行事や活動を通して協力体制をつくるのが大切」「マニュアルを作成して万が一の事態に備える」などのアドバイスがありました。

今後、各自治会・町会・まちづくり協議会で訓練が実施される場合は、積極的にご参加をいただき災害に備える知識習得や地域の絆を深められることを期待いたします。

